



舟橋中学校だより

Funahashi Junior High School News

学校の教育目標

「学びの精神」をもち、仲間を思いやり、
たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像

- ふ … ふるさとに根ざし、広い世界に羽ばたく生徒
- な … 仲間を思いやり、相手の立場になって考える生徒
- は … 働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒
- し … 知る喜び、分かる喜びを求めて学び合う生徒

令和7年度

3月号

令和8年3月発行

学校行事予定

《3月》

- 12日(木) 第76回卒業証書授与式
- 13日(金) 県立高校合格発表
- 16日(月) 専門委員会
- 20日(金) 春分の日
- 23日(月) 給食最終日
- 24日(火) 修了式、離任式
- 25日(水)~4月6日(月)

学年末休業

《4月》

- 7日(火) 始業式、着任式
給食開始
- 8日(火) 第77回入学式(午後)
- 13日(月) 身体計測
新入生テスト(1年)
- 14日(火) 新入生テスト(1年)
学力テスト(2年)
新入生歓迎の集い
- 16日(木) 内科検診
- 20日(月) 学級討議
- 21日(火) 全国学力・学習状況調査①(3年)
専門委員会
- 23日(木) 全国学力・学習状況調査②(3年)
- 24日(金) 部発足
- 25日(土) 学習参観、学年懇談会
育成会総会
- 27日(月) 振替休業
- 28日(火) 交通安全教室
- 29日(水) 昭和の日
- 30日(木) 生徒総会



「じゃあ」のひと言で育てる「前へと進む力」



校長 有山博子



左のような絵をご存知ありませんか？白い部分を中心に見れば「優勝カップのようなつぼ」が、黒い部分を中心に見れば「向き合った顔の影絵」が浮かび上がってきます。また、他の何かを見出す人もいるかもしれません。これは数十年に渡って、中学1年生の国語科の教科書に掲載されている「ルビンのつぼ」というイラストです。同じ絵を提示されても、着目点によって見えてくるものが違う。だからこそ、時には立ち止まって違う見方を試してみよう—このメッセージには、日々起こる出来

事をどう捉え、どう対応していくかを考える上でのヒントがあるように思います。

私たち大人は日常において、失敗やアクシデント、他とのトラブル等の「うまくいかない出来事」に対処しながら生活しています。それができるのは、子供の頃から「折り合いをつける」という経験を重ねてきたからです。失敗しないように努力することは大切ですが、失敗したらしたで適切に対応すればよいこと、それによつては、よりよい成長につながることを知っています。

本校の生徒たちは素直に物事を受け止め、地道に努力できる素晴らしい子供たちです。ただ、前述したような「うまくいかない出来事」に遭遇すると、必要以上に落ち込んだり、自分を責めたりすることがあります。起こってしまった事実に対して「なぜ？どうして？」という言葉投げかけて原因を把握することは大切です。しかし、そこからさらに「じゃあ」というひと言をつないでほしいと思います。「じゃあ」の後には必ず「～してみよう」というフレーズが続きます。「なぜ？どうして？」が後ろを振り返る言葉なら、「じゃあ」は前へと目を向ける言葉です。

巻頭言「根っこに『学ぶ』がある学校」で始まった令和7年度の学校だより。「これからの時代に生き、活躍する舟中生は、今後、はっきりした答えのない課題、自分自身の中に答えを探す問いかけに会っていくでしょう。だからこそ、子供たちには、『学ぶ人』『学ぼうとする人』であってほしい。自分を育てる主役は『自分』です。」4月の巻頭言に記した願いです。物事の結果をきちんと受け止めた後「じゃあ」という言葉をつないで自分を育ててほしい—3年生41名の卒業を前に、改めてこのように感じています。



保護者の皆様、地域の方々には、様々な場面で、本校が目指す「自ら学び、仲間を思いやり、たくましく生きる生徒」の育成に携わっていただきました。年度末にあたり、深く感謝申し上げます。今後とも、よろしく願いいたします。

※上記のイラストは、「国語1」（光村図書 R7.2.5 発行）に掲載された「ちょっと立ち止まって」（桑原茂夫著）46頁から引用しました。

舟橋中学校
の日々の様子
(中学校HP)
は、右記のQR
コードからご
覧になることができます。



1年のしめくりに — 卒業・進級を迎えて —

1 学年

さらなる成長のための挑戦を

中学校に入学した日から早1年が経とうとしています。入学した当初と比べ、生徒たちは様々な面で成長を遂げたと感じています。入学当初は元気さと緊張が入り混じっていた新入生が、学校生活に慣れていくにつれ、自発的にあいさつをする場面が増えたり、より集中して授業に取り組んだりするようになり、徐々に中学生らしさが増してきた1年でした。

先で行われた「卒業を祝う会」に向けても、「3年生が楽しんでもらえるようなもの」というねらいを達成するためには、どのような企画をするのがよいのか、自分たちで積極的に意見を出し合い、実現させようと協力する姿がありました。細部まで考慮して企画を考える姿からは、舟中生としての成長を感じられました。次年度は2年生です。部活動や生徒会活動等、様々な場面で生徒たちが中心的な立場になっていきます。さらに新しいことに挑戦し、成長していただきたいと思います。

保護者の皆様、1年間の活動にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



2 学年

2年生を振り返って

先輩として、新しい気持ちでスタートした2年生も、残りわずかになりました。共に学んだ仲間と中学校で過ごす時間もあと1年となりました。2学期からは生徒会活動の中心になって企画・運営し、日に日に頼もしく成長していきました。3学期は卒業を祝う会に向けてクラス全員の気持ちを一つにし、力を合わせて活動する姿勢にこの1年の大きな成長を感じます。保護者の皆様、様々な場面でご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

【この1年で成長したと思うこと】

- 周りに惑わされずに自分で考えて行動する自律心がついた。
- 相手を思いやる気持ちをもつようになった。
- 時間を有効に使えるようになった。

【最上級生として頑張りたいこと】

- 最上級生として、1・2年生の手本となれるよう、正しい行動をすること。
- 委員会や係の仕事に責任をもって取り組み、周りを見て行動すること。
- 先輩から教えてもらったことを後輩に伝え、舟橋中学校の良い伝統を受け継いでいくこと。



卒業を祝う会の練習

3 学年

「自立」と「自律」の手に、次のステージへ ~ 41人それぞれの道へ ~

3月12日に卒業証書授与式が举行されます。あどけない笑顔で出会った入学式から、あっという間の3年間でした。素直で、明るく、心優しく、何事にも一生懸命に取り組む姿勢はそのままに、学年が上がるにつれ、たくましさが増し、周囲への自然な配慮ができるようになりました。部活動や委員会活動、行事等、様々な学校生活の中で、頼れる最上級生、そして誇れる舟橋中学生になりました。

2月中旬から始まった卒業カレンダーのコメントには、

- みんなに会えて、幸せでした！！
- この学年で過ごした毎日は、楽しかったです！
- 高校で離れても、それぞれの道で頑張ろうね。
- みんなにたくさんの「福」が訪れますように。今まで本当にありがとうございました。



上記のような、仲間と出会えたことの幸せや感謝の言葉があふれています。仲間との出会いに幸せを感じ、相手を思いやり、楽しく学校生活を送ることができたことに私たちも幸せを感じております。

卒業後は、共に過ごし、成長してきた仲間と別れ、自分で選んだ道を歩んでいきます。自分の力で自分の道を歩むからこそ、3年間で養った、自分の意思で判断し行動する力をもつ「自立」、自分の中でルールをもち、ぶれない軸をもって判断・行動できる「自律」の力で、自分自身の人生の舵をしっかりと握って進んでほしいと願っています。今まで、学年の活動にご理解とご協力をいただいた保護者の皆様や地域の方々に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。卒業後の活躍を心からお祈りしています。

舟橋村にお住まいの皆様へ

いつも学校だよりを読んでいただき、ありがとうございます。舟橋中学校では、保護者の方々や地域の皆様と一緒に子どもの学びを支えていきたいと考えております。今後とも学校だよりをご一読いただき、ご意見ご要望などをお寄せください。